

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

12月号 2013.12.1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒273-0021 船橋市海神 5-18-11 遠山方

TEL/FAX 047-431-5065

<http://www.marlow.or.jp/chiba/>

生涯学習フェスタ 10月6日(日)

毎年恒例のモラロジー研究所での生涯学習フェスタでの普及啓発活動を行いました。ティッシュやギフトオブライフの配布のほか、入浴剤のつかみどりやバルーン募金などを実施、会場にはチーバ君やカシワニ君の着ぐるみも登場し、家族づれを中心に一日中とても盛り上がりました。スタンプラリーに参加させていただいたおかげで、来場者の多くが骨髓バンクのブースを訪れてくださいました。

片付けの最中に、以前大変お世話になった吉田憲史さんが声をかけてくださり、井野さんなど他の方にもよろしくお伝え下さいとのことでした。登録説明者がなかったのが残念ですが、よい普及啓発の機会になったと思います。(小泉)



参加者 小泉、鈴山、遠山



参加者 仲田、井野、高橋
登録説明者 2名

野田市健康づくりフェスティバル 10月6日(日)

野田市健康づくりフェスティバルは「市民が健康で長生きができるように」を目標に、保健センターで毎年行われています。

一日曇り空でムシムシするなかでの普及啓発活動でしたが、保健センターの方でテント等を用意して下さり、隣のブースではミニ消防車が展示されていました。小さなお子さんたちがたくさん試乗に訪れ、その子供たち家族にペンシルバルーンなどを配布しました。

ご家族連れが多く、普及啓発の声掛けをしている中で、小学生の時に移植を受け、現在は元気に成長された女子中学生のお母様から「このような活動をされている方々のお陰でこの子の命が救われました。ありがとうございます。」と感謝され感動を受けました。また以前から登録を考えていたのですが、どのようにすればよいのでしょうかと尋ねられ、今日、登録会のないことが残念に思うと同時に、このような地道な活動の大切さを改めて感じました。(仲田)

骨髓バンク推進全国大会 in 千葉 11月9日(土)

千葉の会が活動する千葉市の京葉銀行文化プラザ音楽ホールで、財団が日本骨髓バンクになってから初めての全国大会が開催されました。千葉の会からは10名が参加し、全国から約420名が来場し、盛況な大会でした。

印象に残ったイベントは二つありましたが一つは「コーディネーター模擬体験」です。実際に患者さんとHLAがマッチングしたドナーが提供するまでをロールプレイングで再現したもので、良く理解できました。もう一つは骨髓移植をされた前宮城県知事の浅野史郎さんの講演です。ユーモアたっぷりの移植体験のお話は、引き込まれました。(梅田)



浅野史郎さんの講演

参加者 西島(一)、円東、柴谷、志田、戸辺、小泉、鈴山、石橋、熊倉(正)、山本、梅田

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2, 4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

(特定NPO法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会)

ドナーサポートダイヤル

0120-892-106

ドナーさんが抱える様々な疑問等について、ドナー体験者が経験談を含め情報を提供します。

(特定NPO法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会)

献血併行登録会 兼 普及啓発活動

帝京平成大学 10月1日(火)～3日(木)

帝京平成大学市原キャンパスにて献血併行登録会を行いました。

今年度から他のキャンパスに移った学生さんも多く、会場の休憩室は少し寂しい感じでした。

キャンパスまでのバスの本数も減りバスから降りる学生さんも少なく、応援のライオンズクラブの皆さんも手持ち無沙汰のようでした。救急救命士の勉強をしている学生さんも多く、<もう登録しているよ>と声を掛けてくださる学生さんもいました。

キャンパスは紅葉も美しいだろうなと思うくらい環境の良い所です。(西島(一))



	説明員	登録者数	説明受講数
1日	西島、尾木	0名	2名
2日	志田、松田	3名	3名
3日	西島、溝口	1名	5名



	説明員	登録者数	説明受講者
5日	円東、熊倉正直、照美	4名	4名
6日	柴谷、戸辺	7名	3名

松戸まつり 10月5日(土)、6日(日)

松戸駅周辺を中心に毎年開催されている松戸まつりに合わせた献血併行登録会に参加しました。参加した5日は残念ながら生憎の小雨の中での実施となりました。

普段はバス停となる松戸駅前の道路は、祭りのため車輛通行止めで、各種物産販売等が行われていました。献血バスの停車の関係で会場の片隅での併行登録会となり、人通りが多くないので、献血も少なく、2日間で登録者は11名でした。駅前の2階の人通りの多い場所か、客寄せパンダ又はグッズが欲しいところでした！それと、アルコールを飲む前に来てほしかったです……(円東)

千葉市役所 10月15日(火)

もう頭打ち？そんなイメージ(前回は1人)がありましたが、それを覆した7人の登録を戴きました。受付用PCの背面に「骨髄バンクへの協力お願い」が張り出されています。積極的に「骨髄バンクの登録いかがですか」の一声もかけられていました。うん、今日は何かが違う！

こちらも献血を終えたテーブルでのエネルギー補給の輪に入って行きました。グラビアとバンクニュースを基に新しい情報を伝えるためです。ドナー休暇や18自治体で実施されている「骨髄移植ドナー支援事業」などは、この会報でも一度ならず広報して欲しいと思います。(尾木)



千葉市役所説明員 尾木、円東

モノレールちば説明員 溝口、西島(一)

献血ルーム派遣登録会 ～モノレールちば駅編～

献血ルームへ説明員が訪問し、骨髄バンク登録の声掛け、説明を行う方式は、他県で登録者を増やすことで大きな成果を上げております。特に雇用促進の予算などにより説明員を正規採用として、定期的に献血ルームに常駐させる方式は、登録数の伸びが著しいことが報告されています。

当会も、勉強を兼ねて試験的に献血ルームでの登録会を千葉日赤さんをお願いし、まず最初に、モノレールちば駅献血ルームで10月15日に行いました。千葉日赤さんの温かいご援助・ご協力を頂き、5名の方に登録していただきました。

登録者の中には、以前から登録したいと思っていた方も多く、今後の登録者拡大に明るい期待が持てそうです。これからも定期的に行っていきたいと考えております。(溝口)

ボランティア・会員募集

ボランティアとしてどなたでも、出来ることが色々あります。骨髄バンク＝登録だけではありません。さあ、あなたも始めてみませんか。何かやってみたくなったら、お気軽に連絡下さい。

TEL/FAX 047-431-5065

事務局 遠山まで

スノーバンクペイイットフォワード(SBPIF) 11月16日(土)17日(日)

スノーバンクペイイットフォワード(SBPIF)が東京代々木公園のイベント広場で11月16,17日行われ、好天にも恵まれ大いに盛り上がりました。本イベントは元プロスノーボーダーで、骨髄移植を受け元気になられた荒井善正さん(当会会員)が実行委員長を務めるイベントで、子供たちや選手が、公園内に作られた人工雪のミニゲレンデを滑り、楽しみました。今回で3回目となり、本年は前オリンピック選手の国母和宏選手も参加され、徐々に調子を上げて来た感じがします。

このイベントは、荒井さんが骨髄移植で元気になられた感謝の意味を含め、もっと若い人たちに骨髄ドナー登録を知ってもらおうと企画され、若いスノーボーダーたちが皆で頑張っており、当会も毎年応援に参加しております。今回はNHKさんからも、若者の取り組みとして、ニュースで全国で紹介して頂き、同時に開催された、献血、骨髄登録会の様子も伝えて頂きました。次世代の若い人たちがこの種のボランティアを、支え、活動して下さる姿に、大いに心強さを感じました。(溝口)



参加者 登録説明
者数 受講者

16日	尾木、山本	登録会なし
17日	溝口、円東 梅田、西島夫妻	44名 8名

左：代々木公園にできたゲレンデ
右：ドナー登録の様子

会費納入のお願い

千葉骨髄バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。皆様のご支援とご協力をお願い致します。

年会費； 3,000円(学生1,000円)
振替口座名 千葉骨髄バンク推進連絡会
口座番号 00160-6-547168

※毎月開催している定例会に持参していただいても結構です。もちろん定例会出席も歓迎です。

志村大輔基金を受けた方からのメッセージです。 <2月号でも紹介します>

昨年の年末より少し体の不調を感じ、そんなに重病だと思わず1月に病院に診察に行ったところ、即入院そして、そのまま救急車で専門医にある病院に転院させられました。

何が何だかわからないまま、突然の闘病生活が始まり、病院の先生より病気の説明を受け、その時に、志村大輔基金のお話を聞き申請をさせていただきました。

私は今23歳で、まだいいかなと思いき生命保険類にも入っていない上に、休職。そんな中での給付のお返事をいただき本当に有り難い気持ちでいっぱいです。

まだまだ闘病生活が続きますが、頑張っていきたいと思えます。有り難うございました。(兵庫県・Sさん)

この度はご支援をいただき大変有り難うございます。息子の病が発病したのは皮膚科での血液検査をした2月の終わり頃でした。ふとしたきっかけが幸い、かなり早期での発見でした。

……とは言うものの息子は24歳です。人生これからという時に、どうしたらいいのだろうと目の前が真っ暗になりました。

現在はスプリセルを服用しており、安定しています。けれど一生飲み続けなければならない…。経済的、精神的にも息子に負担をかけたくない。薬は大変高額だし、どうしたら……藁にもすがる想いで申請させていただきました。本当に感謝しております。この先、息子が良い人生を歩んで行けるようサポートして行きます。

(埼玉県・Iさん)

千葉大医学部附属病院が非血縁者間末梢血幹細胞採取施設に認定

日本骨髄バンクを介しての造血細胞移植は、従来、腸骨の骨髄から全身麻酔の下、注射器で採取する骨髄液を、患者さんに注入する骨髄移植でしたが、最近では、ドナーさんに白血球を増やす薬を3~4日注射した後、末梢血から造血幹細胞を選んで採取し、これを患者さんに注入する方法が追加採用されました。

この採取認定病院に千葉大医学部附属病院が、本県初の認定を取得したとの発表が日本骨髄バンクからありました。造血細胞移植において、患者さん、ドナーさんの選択肢が広がり、それぞれの特徴を生かした治療法の発展に期待します。(溝口)

日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2013年10月末現在)

	全国 (累計)	対前号増減数	千葉県 (累計)	対前号増減数
ドナー登録者数	439,024	+3,657	13,365	+10
累計患者登録者数	40,091	+522	1,580	+24
累計移植例数	16,200	+245	510	+7

会員紹介 ～ 鈴山智子～

鈴山と申します。2年ほど前に、溝口さんから活動の内容を伺ったことがきっかけで入会いたしました。仕事は献血バスの受付業務です。献血併行登録会の時はいつもお世話になっています。

とても熱しやすく冷めやすい性格で、今までにピアノ、英会話、中国語、水泳、手話、カラオケ教室、手芸など挑戦しましたが長続きしたためしがありません。春から書道を始めて、今は野田の七夕祭で手に入れた金魚の飼育に夢中です。趣味はイラストを描くことで、いつか絵本の挿絵を描いてみたい！というのが密かな夢です。

こんな私ですが、骨髄バンクのボランティアは熱い気持ちで続けていけたら、と思っています。

知識も経験も乏しい未熟者ですが、少しでも活動に貢献していきたいです。よろしくお願いたします。



心からのご寄付
ありがとうございます。

角田文子様 2,000円
柴田純代様 2,000円
生涯学習フェスタ寄付様 9,384円

アラビアより愛をこめて 6

朝5時にモスクからのお祈りのスピーカー音で起こされ、パンとコーヒーの朝食後、車で砂漠を抜けると日本の石油化学コンビナートのような巨大な会社に到着する。その後、拳銃装備をした警備員のいる門を3箇所通過するとそこが私の職場です。

私の仕事は、工場のメンテナンスだから、下請けも入れると多種多様な10ヶ国近い人種の職員が集まる。

コミュニケーションは英語ベースなれども困難を極め、筆談等での現場説明など体当たりで、黙っては何も進まない。

そんな日常だったが、計器室で見かけた献血ポスターでほっとしたものだ。日本と同じ希望者による献血が行われていました。

本報告で帰国となり便りは最後になります。(西島隆史)



計器室でみかけた献血ポスター

鈴山さんのイラスト

今後の予定 (お知らせ)

啓発活動

- 東京箱根間駅伝競走大会 1月2・3日
2日(往路) 田町 宮ノ下
3日(復路) 宮ノ下 田町

ドナー登録会

- 船橋ららぽーと登録会 12月14,15日
- 千葉市中央区役所登録会 1月17日

定例会予定

- 日時 1月5日(日) 14時～
- 場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム
- 日時 2月2日(日) 14時～
- 場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム

東京箱根間駅伝競走大会に千葉県から2校出場しますので、応援に行かれてはどうでしょうか？
選手のスピードを感じてみるのも意外とおもしろいですよ。沿道の人の多さには、驚きます。



<編集者のひとりごと>

今年も残すところ一月を切りました。皆様何かと忙しいのではないのでしょうか？

この会報も千葉の会員、県内各市の担当課、県内病院、関東近県のボランティア団体等の計80団体位に郵送しております。来年は、もっと多くの団体との輪を広め交流を図っていきたくと考えております。これからも好き勝手に独り言を書いて行きます。皆様良いお年をお迎え下さい。(遠山)